

地域の皆さんに伊豆の国の農畜産物をPR
伊豆の国地区 JAまつり2023JA・生産部会・地元企業など
20以上のブースが出店

収穫に感謝するとともに、地場農畜産物を広くPRするため、伊豆の国地区 JAまつり2023を農の駅グリーンプラザ伊豆の国で開催しました。

イチゴやワサビ、ミニトマト、シイタケなど当地区特産物の販売・試食をはじめ、JAふじ伊豆の米3種食べ比べや地場農産物を使用したキッチンカー、各種模擬店、動物との触れ合いコーナーなどが出店。JA職員と青壮年部・女性部、生産組織、地元企業らが協力して多彩な企画を展開し、大盛況となりました。ご来場いただいた皆さん、ありがとうございました。

青壮年部
食農教育活動紹介

青壮年部員とJA職員が協力し、各地で食農教育活動を行っています。農業体験などを通じて、地域の子どもたちに「食」を生み出す農業・地域・自然の役割を教え、地域農業の振興や地域貢献を果たしています。

韮山地区の幼稚園・保育園児と稻刈り体験

北支部の部員約25人が富士美・共和幼稚園、韮山・ちとせ保育園と稻刈りを実施。6月に田植えを行った稻と一緒に刈り取りました。



大美伊豆牧場で動物と触れ合い体験

青壮年部畜産部会員やJA職員が協力し、大仁小の児童に動物との触れ合い体験を実施。児童たちは牛のえさやりやバター作りに奮闘しました。

修善寺南小ワサビ収穫体験を初開催

伊豆市湯ヶ島のワサビ沢で修善寺南小の児童が南支部の部員とワサビの収穫を体験。児童たちは自分で収穫したワサビを手に笑顔を見せていました。

土肥こども園でサツマイモ収穫体験

土肥地区的部員が土肥こども園のサツマイモ収穫作業に協力。園児たちは一生懸命サツマイモを掘り出し、収穫の喜びを体験しました。

伊豆の国地区
Information

無料 年金・税務相談会

JAでは無料の各種相談会を開催しています。年金や税務に関する皆さまの疑問やお悩みに社会保険労務士や税理士などの専門家がお答えします。どなたでも無料でご相談いただけます。

*お一人様60分を目安とし、ご予約の方を優先します。
*お申し込みは最寄りの支店までご連絡ください。



年金相談会

開催日時	開催場所	電話番号
2月14日(水) 13:00 ~ 19:00	江間支店	055-948-6060

税務相談会

開催日時	開催場所	電話番号
2月13日(火) 13:00 ~ 17:00	田中支店	0558-76-1388
3月14日(木) 13:00 ~ 17:00	修善寺支店	0558-72-0134

*4月以降の相談会は開催日時が決まり次第お知らせします

移動金融店舗巡回スケジュール

取扱業務／普通貯金の入出金、通帳の記帳・繰越、定期貯金の受入・解約、定期積金の掛け込、公共料金の支払い、国税以外の税金納付、通帳の差替えなど



お問い合わせ／地区金融課 055-949-3214

*ATMはございません。お通帳・お届け印をお持ちください。
キャッシュカードでも入出金できます

*金額が多額の場合には受付できない場合があります

	午前(9:00~10:30) ※火曜日は9:30~10:30	午後(13:15~14:45)
月	旧原保支店(毎週)	奈古谷支店跡地(毎週)
火	旧八木沢支店 (第1・3・5週)	旧浮橋支店 (毎週)
	小下田売店跡地 (第2・4週)	本立野支店跡地(毎週)
水	旧熊坂支店(毎週) (メモリアルセンター本社敷地内)	原木支店跡地 (第1・3・5週)
	守山東観光駐車場 (第2・4週)	守山東観光駐車場 (第2・4週)

*祝祭日は運休

状況により、巡回場所を変更・中止する場合があります。
最新スケジュールはJAふじ伊豆ホームページをご確認ください



ホームページは
こちらから



より良い地域づくりへ 認知症センター養成講座を受講

認知症の方やその家族を支援する「認知症センター」の養成講座を伊豆の国本部で開き、伊豆の国地区各支店の支店長と窓口リーダー職員が受講しました。

管内の地域包括支援センターの担当者を講師に、高齢のお客さまへの対応強化・より良い地域づくりへの貢献に向け、認知症の基礎知識や地域ごとの課題点、金融機関での具体的な事例、対応方法や声掛けの注意点などを学びました。



認知症の基礎知識などを学ぶ支店長

女性に人気の冬野菜 プチヴェール®、ちぢみホウレンソウ出荷

当地区では、プチヴェールとちぢみホウレンソウを12月中旬から出荷をしています。

プチヴェールは芽キャベツとケールを交配した野菜で、癖のない上品な甘みや高い栄養素が特長。ちぢみホウレンソウは葉が厚く、寒さで増した甘み・味の濃さが特長です。当地区では生産組織「小さな緑の会」を中心に栽培。プチヴェール・ちぢみホウレンソウは3月末頃まで近在市場に出荷予定です。



プチヴェール・ちぢみホウレンソウの出荷規格を確認
※「プチヴェール」は(株)増田採種場の登録商標です。

代々続く伝統の味 田中山たくあん漬け込み



手作業で漬け込みをする生産者ら

田中山干し大根組合は、11月から1月まで「田中山たくあん」の漬け込み作業を行いました。「田中山たくあん」は独特的の歯触りと甘みが特長。生産者が手作業で漬け込む伝統の味が人気です。

渡邊一郎組合長は「今期は天候に恵まれ、うまみが凝縮したおいしくたくあんに仕上がりそうだ」と話していました。

「農の駅グリーンプラザ伊豆の国」や「農の駅伊豆」では真空パックの浅漬けを販売中です。ぜひ味わってみてください。

だしの活用方法を学ぶ 乾シイタケのだし食味体験



乾シイタケだしの味や香りを確認する参加者

県椎茸産業振興協議会は乾シイタケのだしの食味体験を12月12日に伊豆市役所で開きました。

同協議会長の菊地豊市長やシイタケ生産者、行政担当者、当JA職員らがだし専門店「おだし香紡」の沼田行雄さんを講師に、伊豆産と他産地の乾シイタケだしの飲み比べやうま味成分を引き出すだしの取り方などを学びました。修善寺調理師会代表の浅利裕美さんは「伊豆産はうまみが後から来るため料理に合わせやすい」と講評しました。

意欲ある生産者をJAがサポート 「あぐりチャレンジ事業」で新たな取り組みに挑戦



▲急速冷凍機導入に向け業者による実演会を11月に実施。組合員が冷凍イチゴの製造手順や味などを確認



10月下旬に天城湯ヶ島・中伊豆地区のワサビ沢に生育調査用の苗を定植

目ぞろえ会で品質徹底 ワサビのブランド力維持へ

伊豆の国わさび委員会は12月5日、ワサビの目ぞろえ会を修善寺営農経済センターで開きました。

生産者や市場担当者約100人が参加。今回は初の試みとして市場4社のブースをそれぞれ設け、根茎処理の注意点など各市場の要望や意見を生産者が直接聞き、品質向上への意識を高めました。塩谷美博委員長は「市場の需要に応え、今まで築いてきた伊豆ワサビのブランド力をさらに高めていきたい」と話しました。



市場担当者(右)と生産者がワサビの規格を確認

農家組合員の農業所得の向上・農業生産の拡大・生産組織の基盤強化に向けた当JAの助成事業「あぐりチャレンジ事業」に採択された新たな取り組みが当地区内でも各品目で実施されています。

江間いちご狩り組合

破棄イチゴの有効活用に向けた急速冷凍機の導入

江間いちご狩り組合ではイチゴ狩り閑散期のイチゴを冷凍イチゴとして活用するため、液体式急速冷凍機「フリーズマスター」を導入。-30℃の超低温の液体で急速冷凍することで、通常冷凍よりも生のイチゴに近いおいしさの冷凍イチゴを製造可能に。本格的な活用に向けて、販売先などの検討を進めています。

伊豆の国わさび委員会

ワサビの条件と苗の種類における相関性の生育調査

伊豆の国わさび委員会では標高の高い上部に位置する「上等田」と標高の低い下部に位置する「下等田」に種類の異なるワサビ苗(メリクロン苗・二次苗・実生苗)を定植する生育調査に新たに取り組んでいます。定植後の生育の経過観察や収量調査の実施により上等田と下等田の秀品率を明らかにし、産地の秀品率向上のための検討材料にします。

色づき、味良く品質良好 「伊豆の国ミニトマト」本格出荷



ミニトマトの形や着色基準などを確認する生産者ら

伊豆の国果菜委員会では11月上旬から「伊豆の国ミニトマト」の本格出荷を迎えていました。今期は味や色づき、品質など上々の仕上がりで、7月下旬ごろまで近在や京浜、長野市場に出荷します。

西山稔委員長は「暑さで例年よりも色づきが早かったが、味も品質も良い出来に仕上がっている。全員で協力し、規格に合ったミニトマトを出荷していきたい」と話しました。